

# 夕張国際学生映画祭が開幕 黄色いハンカチで 俳優や観客を歓迎

夕張市でこの冬開かれる二つの映画祭のうちの一つで、学生や若手中心の「夕張国際学生映画祭2008」が22日、同市内のホテルニューパロで開幕した。



同日朝、NPO法人ゆらばり観光協会のボランティアらが黄色いハンカチ

手を振って「お帰りなさい」と歓迎する中、審査委員を務める俳優で監督

「お帰りなさい」。ボランティアらが黄色いハンカチで歓迎する中、会場に入る俳優・監督の小沢仁志さん(先頭)ら22日午前11時0分、夕張市本町のホテルニューパロで

の小沢仁志さんら数十人のゲストや観客が札幌や千歳からのバスで次々と会場に到着した。

開会式では、過去のゆらばり国際映画祭の「常連」でもあった小沢さんが「ただいま、と言った方が正確かな。(会場のホテルの)裏の飲み屋の何軒かは今でも記憶に残

っている」とあいさつ。吉永小百合さんの「皆さんの若い力で夕張を盛り上げ、地元の方たちを元気づけて」との音声メッセージが流された。藤倉肇市長は「上映だけでなく、ロケも作品発表も映画のことなら夕張、トンネルを抜けたらそこは映画の街だった、そんな街をつくりたい」と参加者を歓迎した。

映画祭は24日まで。23日午後5時からは会場のホテル前で、参加の学生監督やスタッフらと地元市民の交流の「屋台村」が開設される。